

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国 語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～B組

教科担当者：（A組： ）（B組： ）

使用教科書：（『高等学校 現代の国語』 第一学習社 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書・読					
<p>1 学 期</p> <p>「話して伝える1」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使うことができるようにする。 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができるようにする。 【話す聞く】 自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができるようにする。 【話す聞く】 話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができるようにする。 【話す聞く】 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合うとする態度を養う。 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとする態度を養う。 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとする態度を養う。 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 話し方の工夫 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 ● 待遇表現 敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 敬語表現が選択される視点を理解する。 相手や場に応じた表現が選択できるようにする。 	○		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。(1イ) 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。(1カ) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。(A1ア) 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。(A1イ) 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(A1ウ) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。 	○	○	○	10

	<p>表しようとする態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとする態度を養う。 								
	定期考査								2
	答案返却								
1 学 期	<p>「本当の自分」幻想</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用できるようにする。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができるようにする。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができるようにする。 推論の仕方について理解を深めることができるようにする。 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができるようにする。【書く】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができるようにする。【読む】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができるようにする。【読む】 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとする態度を養う。 積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「本当の自分」幻想 平野 啓一郎 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 	○	○	○	○	○	○	12
	定期考査								2
	答案返却								

2 学 期	<p>「夢十夜」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用できるようにする。 ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるようにする。 ・ 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができるようにする。 ・ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができるようにする。 ・ 実社会との関わりを考慮するための読書の意義と効用について理解を深めることができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫することができるようにする。 【書く】 ・ 自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方ととも、表現の仕方を工夫することができるようにする。 【書く】 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする態度を養う。 ・ 解釈した内容を工夫してまとめ、積極的に紹介文を書こうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「夢十夜」 ・ 夏目漱石 ・ 「夢という非日常性を持つ世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。(1)ウ) ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) ・ 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) ・ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・ 実社会との関わりを考慮するための読書の意義と効用について理解を深めている。(3)ア) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) ・ 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方ととも、表現の仕方を工夫している。(B(1)ウ) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・ 解釈した内容を工夫してまとめ、積極的に紹介文を書こうとしている。 	○ ○ ○	12
定期考査 答案返却						2

2 学 期	<p>「話して伝える2」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができるようにする。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができるようにする。 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫することができるようにする。【話す聞く】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができるようにする。【書く】 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫することができるようにする。【書く】 目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができるようにする。【話す聞く】 目的や意図に応じて、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確することができるようにする。【書く】 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合おうとする態度を養う。 進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとする態度を養う。 進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとする態度を養う。 情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとする態度を養う。 進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 論理的な表現 <ul style="list-style-type: none"> 論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 説得力を意識した表現のしかたについて理解する。 ● 情報の探索と選択 <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を探す方法を理解する。 情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 情報の探索と選択を実践できるようになる。 ● 情報源の明示 <ul style="list-style-type: none"> 引用の目的とその効用を理解する 引用の具体的な方法を理解する。 引用を適切に活用できるようにする。 	○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ) 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。(2)オ) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。(A(1)イ) 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。(B(1)ウ) 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。 進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。 進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとしている。 情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。 進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解しようとしている。 	○ ○ ○	12
定期 答案返却						2

3 学 期	<p>「書いて伝える1」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使うことができるようにする。 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できるようにする。 比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解を深め使うことができるようにする。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確できるようにする。【書く】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができるようにする。【書く】 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫することができるようにする。【書く】 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができるようにする。【書く】 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとする態度を養う。 学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとする態度を養う。 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとする態度を養う。 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に紹介文を書こうとする態度を養う。 目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとする態度を養う。 書いた紹介文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き方の基本レッスン 表記・表現の基本ルールを理解する。 接続表現の種類や用法を理解する。 比喩などの表現技法を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を紹介する 情報を的確に紹介する方法を理解する。 必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使っている。(1)イ) 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ) 比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解を深め使っている。(1)カ) 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。(2)エ) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫している。(B(1)ウ) 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。(B(1)エ) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に紹介文を書こうとしている。 目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 書いた紹介文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 	○	○	○	14	
	定期考査							2
	答案返却							合計
							70	